

プレキャスト連続基礎
[ガードパイプ・ガードレール]
Scrumguard

スクラムガード



連結部材

標準用

ImageCG

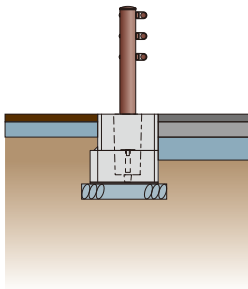


株式会社 赤城商会

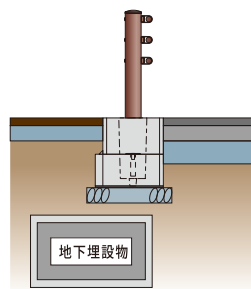
特長

- 歩道と車道との分離部における車両用防護柵基礎として、連続基礎を構築します。
- プレキャスト製品のため、現場打ち連続基礎に比べ、型枠の設置やコンクリートの養生に要する時間を短縮でき、工期短縮が図れます。
- 従来の現場打ち連続基礎に比べて小断面のため、道路幅員を有効に使用できます。
- 施工延長に応じた規格を5種類用意しておりますので、経済的な断面の選定が可能です。
- 製品の連結部は連結用部材を用いたボルト固定のため、取替が容易に行えます。
- 曲線施工にも対応できます(内カーブ:R=11m、外カーブ:R=13m)。
- 車両用防護柵標準仕様・同解説(平成16年3月、社団法人日本道路協会)、防護柵の設置基準・同解説(平成20年1月、社団法人日本道路協会)に準じております。

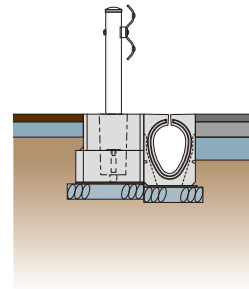
■歩車道分離帯に使用



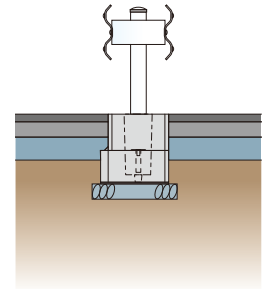
■地下埋設物等がある場合に使用



■側溝と併用して使用



■中央分離帯に使用



適用条件

B種およびC種のたわみ性防護柵基礎に利用できます。

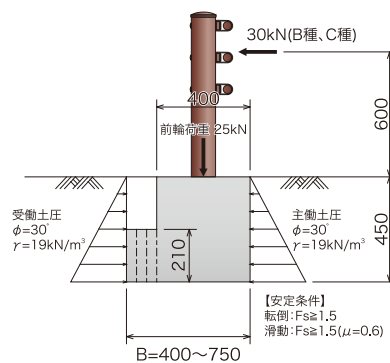
道路の区分	設計速度	一般区間	重大な被害が発生する恐れがある区間
高速自動車国道	80km/h以上	—	—
自動車専用道路	60km/h以下	—	—
その他の道路	60km/h以上	適用可(B種用)	—
	50km/h以下	適用可(C種用)	適用可(B種用※)

※設計速度40km/h以下での道路では、C種用の防護柵を使用することができます。

適用範囲

設計条件

- ・衝突荷重 $P=30\text{kN}$ (B種、C種)
- ・衝突高さ $H_p=0.60\text{m}$
- ・摩擦係数 $\mu=0.6$
- ・単位体積重量 $\gamma=19\text{kN/m}^3$
- ・せん断抵抗角 $\phi=30^\circ$
※受働土圧考慮
- ・転倒安全率 1.5以上
- ・滑動安全率 1.5以上
- ・支持力 必要支持力以上



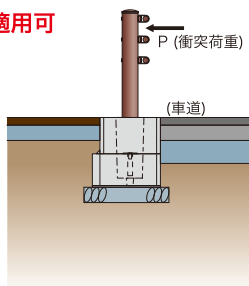
※適用基準書: 車両用防護柵標準仕様・同解説(平成16年3月)、防護柵の設置基準・同解説(平成20年1月)

適用範囲

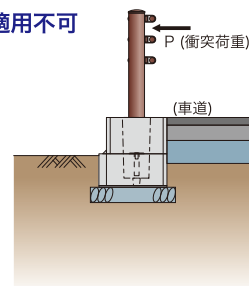
歩車道分離帯など、製品前面(車道とは反対側)を埋め戻す場合のみ使用可能です。

※路肩部や擁壁上部など、製品前面を埋め戻さない場合には、「プレガードII」をご使用ください。

○ 適用可

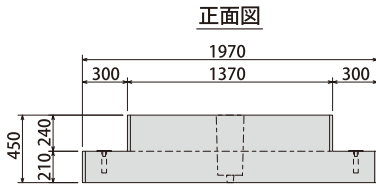
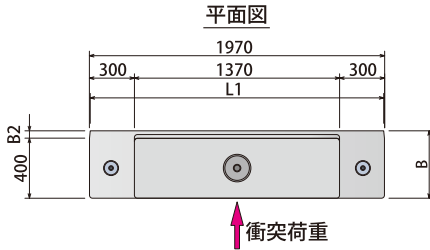


× 適用不可



製品規格

標準用

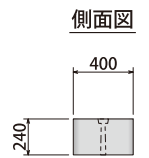
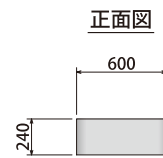
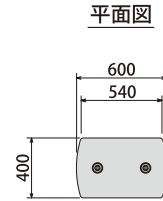


寸法表

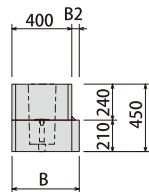
呼び名 (連結延長)	各部寸法(mm)			参考質量 (kg)
	B	B2	L1	
BC30	400	0	1970	674
BC25	450	50	1960	724
BC20	500	100	1950	771
BC15	600	200	1930	867
BC10	750	350	1900	1008

連結部材

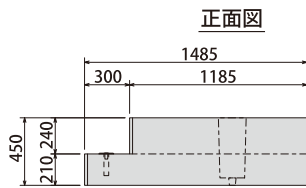
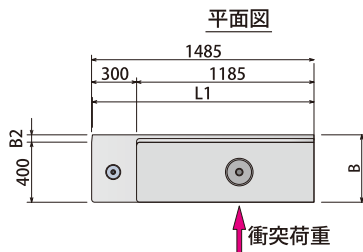
参考重量 130kg



側面図



端部用

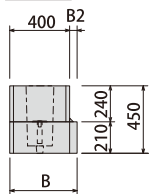


寸法表

呼び名 (連結延長)	各部寸法(mm)			参考質量 (kg)
	B	B2	L1	
BC30L, BC30R	400	0	1485	538
BC25L, BC25R	450	50	1480	573
BC20L, BC20R	500	100	1475	611
BC15L, BC15R	600	200	1465	684
BC10L, BC10R	750	350	1450	792

※左側用(L)、右側用(R)があります。(図面は右側用)

側面図



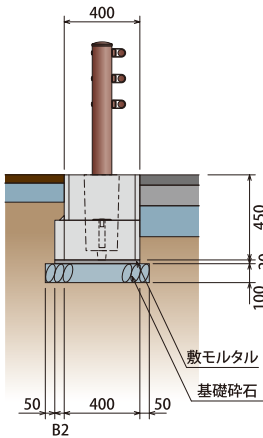
○中央分離帯に使用する場合の注意事項

※中央分離帯に使用する場合の必要連結延長は、下表の通りとなります。

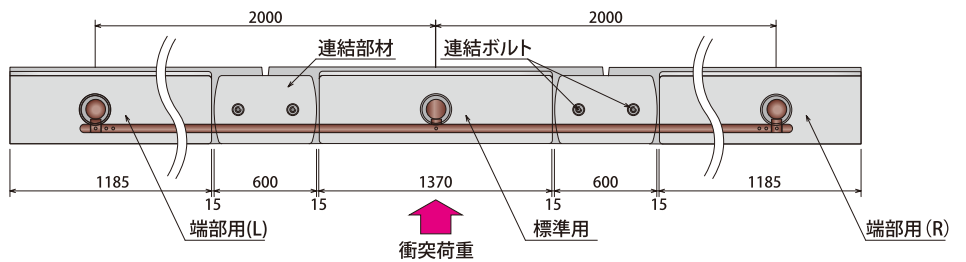
呼び名	必要連結延長
BCm30	30m以上
BCm25	25m以上
BCm22	22m以上
BCm18	18m以上
BCm14	14m以上

施工図

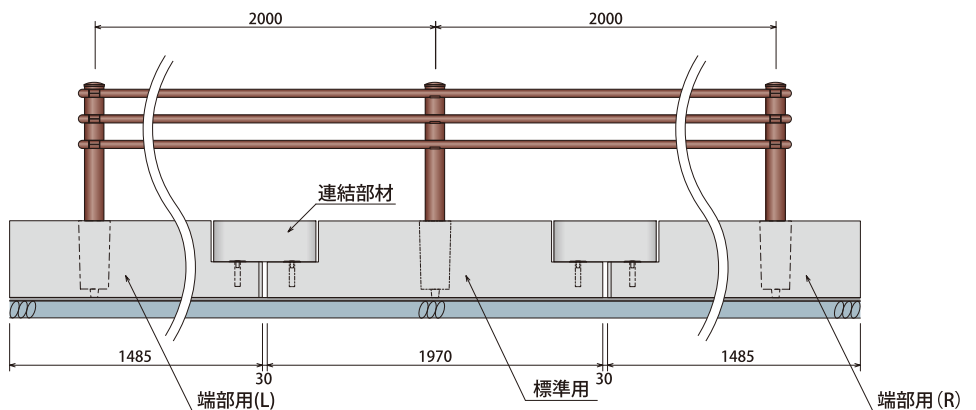
標準断面図



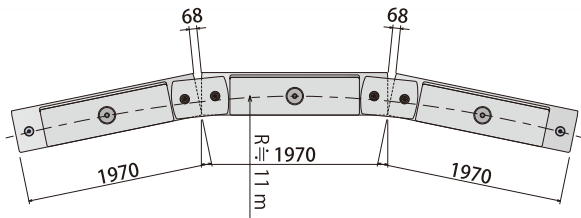
平面図



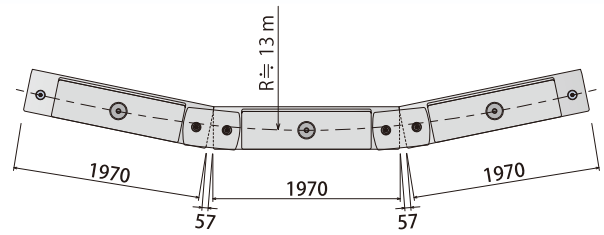
正面図



■曲線施工について



●内カーブの場合：11mまで対応可能です（全規格共通）。



●外カーブの場合：13mまで対応可能です（全規格共通）。

■施工歩掛り

名称	単位	数量	摘要
世話役	人	0.14	
特殊作業員	人	0.14	
普通作業員	人	0.53	
ラフテレーンクレーン	日	0.14	4.9t吊り
諸雑費	%	4	

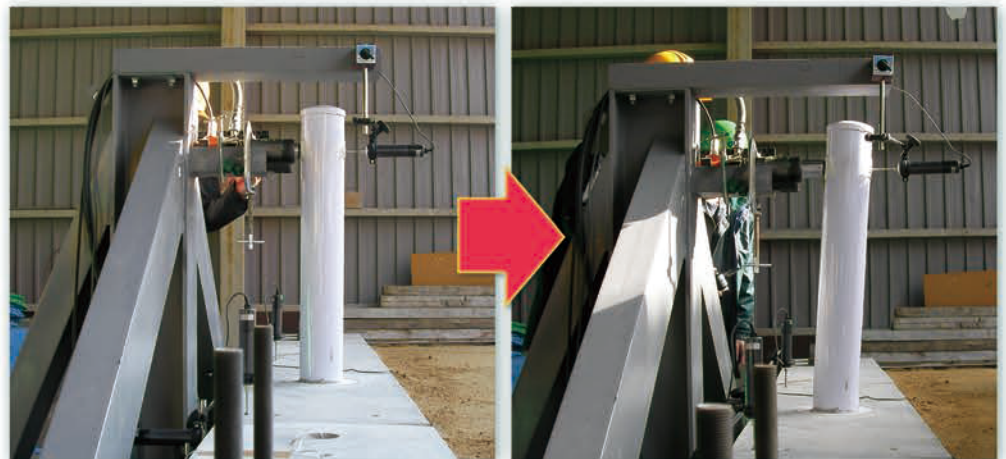
10m当り

(注) 諸雑費は、労務費・ラフテレーンクレーン賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

■施工手順

- ①床掘りおよび基面整正
- ↓
- ②基礎材の敷設
- ↓
- ③製品(標準用)の設置
- ↓
- ④連結部材の設置および
ボルトによる締め付け
- ↓
- ⑤埋戻しおよび舗装工
- ↓
- ⑥支柱の建て込みおよび
ビームの取付け

■性能確認試験



載荷前

載荷後

販売店



株式会社 赤城商会

www.akagi-sk.co.jp

本社

〒377-0203 群馬県渋川市吹屋1093-4
TEL(0279)24-3131 FAX(0279)23-1447

首都圏支店

〒333-0861 埼玉県川口市柳崎1-2-28
TEL(048)424-2250 FAX(048)424-2274

